

加西市の下水道使用料!!

次に、加西市の下水道使用料について見てみます。図4によると加西市の汚水処理原価^{注2}は使用料単価^{注3}の約4倍となっています。これは1㎡の汚水を処理する費用の約4分の1しか使用料をもらっていないこととなります。仮に採算を取ろうとした場合、私たちは今の4倍の使用料を支払わなければなりません。このような汚水処理費が使用料の何倍もかかっている状況は他市においてもそう変わらないことから、根本的に下水道事業は採算を取ることが困難な事業とされています。

では、次に加西市の使用料を他市と比較してみると図5のとおり加西市は県下29市中6番目に高いことがわかります。では、なぜこんなに使用料が高くなったのでしょうか。

①人口密度が低い

加西市は近隣他市や都市部と比べると人口密度が低く、下水道整備の投資効率が悪いため経費が高くなります。

②処理施設の急激な増加

短期間に市内のほぼ全域に下水道整備を行い、処理施設は10年前の5箇所から26箇所に急増しています(図2)。その中には処理区域が狭い小規模施設も多数あります。一般に大きな処理場の方が汚水処理コストは低いため、小規模な施設が多いと処理経費が割高になります。

この様な理由から加西市は他市より多くの使用料をいただかないと経営が成り立たないのです。

今後どうなるの?

①水洗化率の向上

17年度の水洗化率^{注5}は約70%です。これは下水道に接続できる地域の約3割の方がまだ接続していません。下水道事業の経営状況を改善するためには、下水道法に定められた通り3年以内に下水道に接続していただくことで水洗化率の向上させることが重要ですので、市民の皆さまのご理解ご協力をお願いします。

②処理施設の統合

短期間で下水道整備率を向上させるために、加西市では小規模な施設を数多く整備しました。そのため、処理経費が割高になってしまいましたが、今後は処理効率を高めるため市内の処理施設の統廃合が必要となってきます。

③使用料の値上げ

加西市では14年度下水道使用料を値上げしたことにより、使用料充足率^{注4}は20%を超え、17年度には27%になりました。しかしながら、国の指針の60%には遠く及びません。今後、下水道会計を健全化させるために使用料の値上げを検討する必要があります。

図3 仕送り(補助金)のながれ

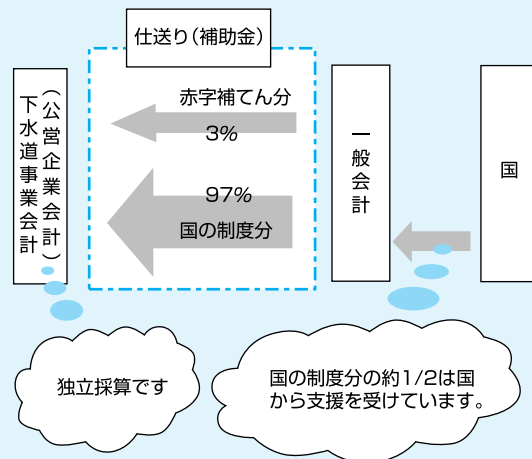


図4 使用料単価と汚水処理原価

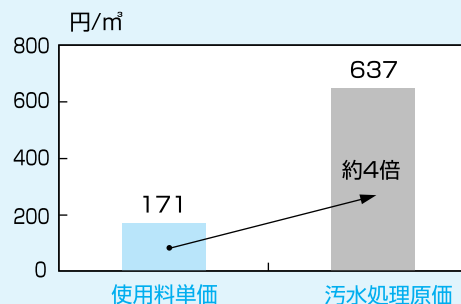


図5 下水道使用料の比較

加西市は2,730円で県下29市中6番目に高い県下29市で
 ・一番安い市は1,391円
 ・一番高い市は3,058円
 ・平均は2,154円

<参考> 北播比較

加東市	1,727円	21位
小野市	1,732円	20位
西脇市	1,838円	18位
三木市	2,520円	10位

※家庭で月20㎡使用した場合の公共下水道使用料(平成18年7月1日現在)

用語説明

注1) 下水道整備率: 加西市の人口のうち下水道に接続できる人口の割合

注2) 汚水処理原価: 1㎡の汚水を処理する費用

注3) 使用料単価: 汚水1㎡当りの使用料

注4) 使用料充足率: 1㎡当りの汚水処理費用に対する使用料の割合

注5) 水洗化率: 下水道に接続できる人口のうち実際に接続している人口の割合